

公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方について



令和3年4月

内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当)

公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方について

研究データ基盤システムを中核としたデータ・プラットフォームの構築

- 研究データの公開・共有を推進、産学官のユーザが **データを検索可能**
- **ムーンショット型研究開発制度**における試行(2020年度開始)、その後、次期 **SIP**に導入
 - ➡ **全ての公募型の研究資金**の新規公募分に導入(2023年度まで)

アカデミア、産業界等

研究データを検索・利活用

大学・研究機関等

研究データ基盤システム

(NII Research Data Cloud)

2020年度に本格運用開始

国立情報学研究所 (NII)

Cinii Research

検索・利用

管理・保存

公開・蓄積

GakuNin RDM 次期 JAIRO Cloud by WEKO3

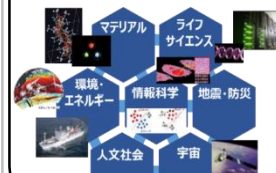
高度化・一体的運用

SINET

(大学間等の高速通信ネットワーク)

様々なデータ・プラットフォーム

バイオ、マテリアル等の重要戦略分野のデータ・プラットフォーム



SIP等の分野間データ連携



EBPMのためのシステム



e-Rad Research and Development

欧州等の海外のプラットフォーム



EUROPEAN OPEN SCIENCE CLOUD

連携を推進

資金配分機関

公募型の研究資金

研究データ

研究者が付与

メタデータ ※

収載

※データの説明、管理者、共有・公開・非公開の区別等の研究データの概要を示す情報